

JAXA Activity Report

2020年 1月-3月

JAXAの取り組みを時系列で紹介します。

JAXA事業の主な取り組みを国内外の情勢や宇宙開発動向と共にご紹介します。

3月
March

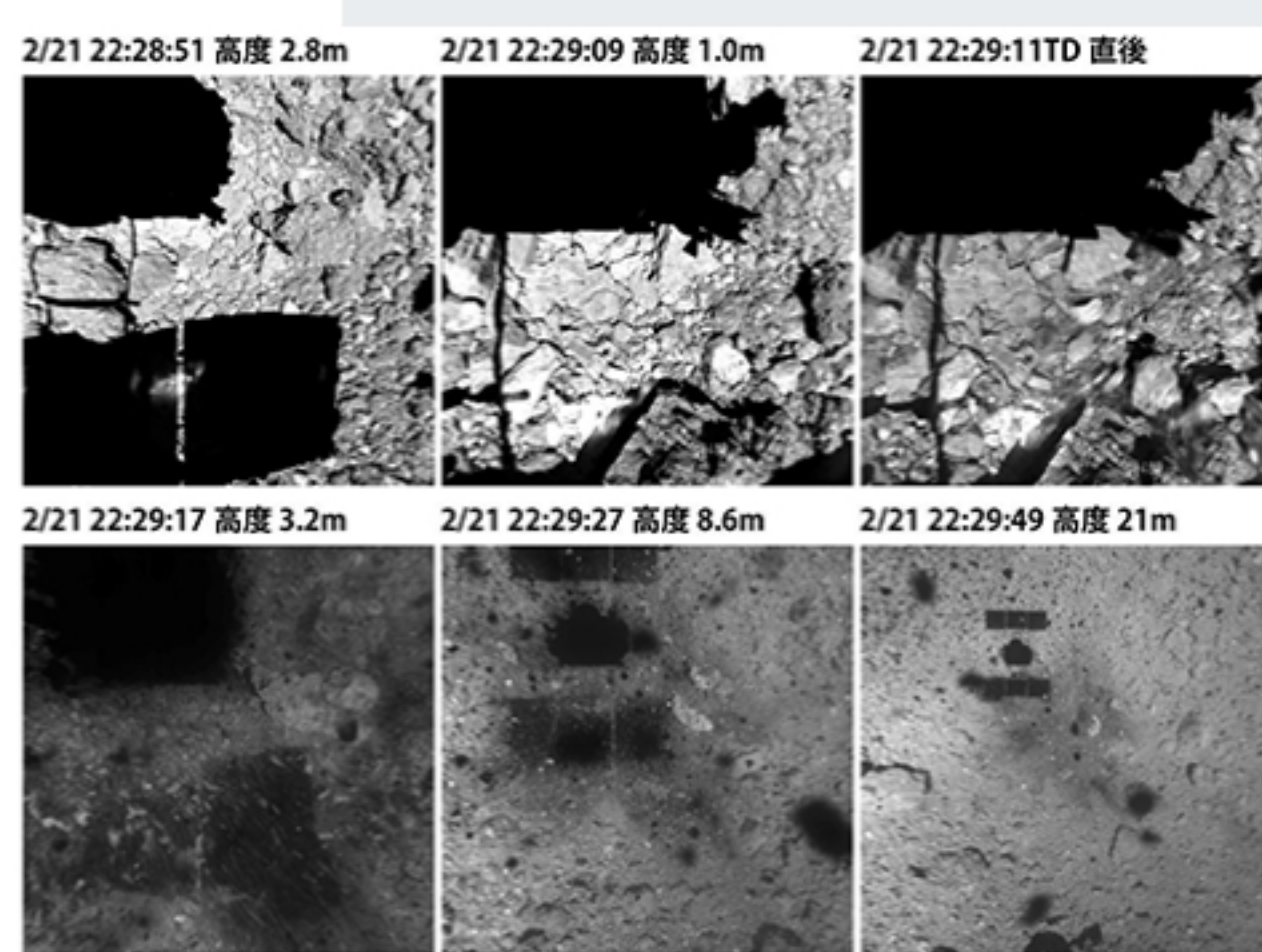


図1：ONCWF1によって撮影された第1回タッチダウンの前後のリュウグウ表面の様子。図例は測定位置。 (JAXA、東京大、理研、大阪大、名古屋大、京都大、岡山大、広島大、九州大、東北大、北海道大、北海道大、北海道大、北海道大、北海道大、北海道大)

3/20

[小惑星探査機「はやぶさ2」が小惑星リュウグウで行った人工クレーター形成実験の結果をまとめた論文がScience誌に掲載](#)

3/24

国内外の情勢

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、東京五輪・パラリンピックの延期が決まった。

3/23

[商業デブリ除去実証（CRD2）にかかるパートナーシップ型契約を株式会社アストロスケールと締結](#)

3/25

[ALEとJAXA、宇宙デブリ拡散防止装置の事業化に向けたJ-SPARC事業共同実証を開始](#)



3/31

[機関紙JAXA's80号発刊。テーマは「雲と雨」。対談は新海誠監督と地球観測研究センター研究領域リーダー沖理子とが語る「空のなかの出来事が、私たちの営みを変える」。](#)

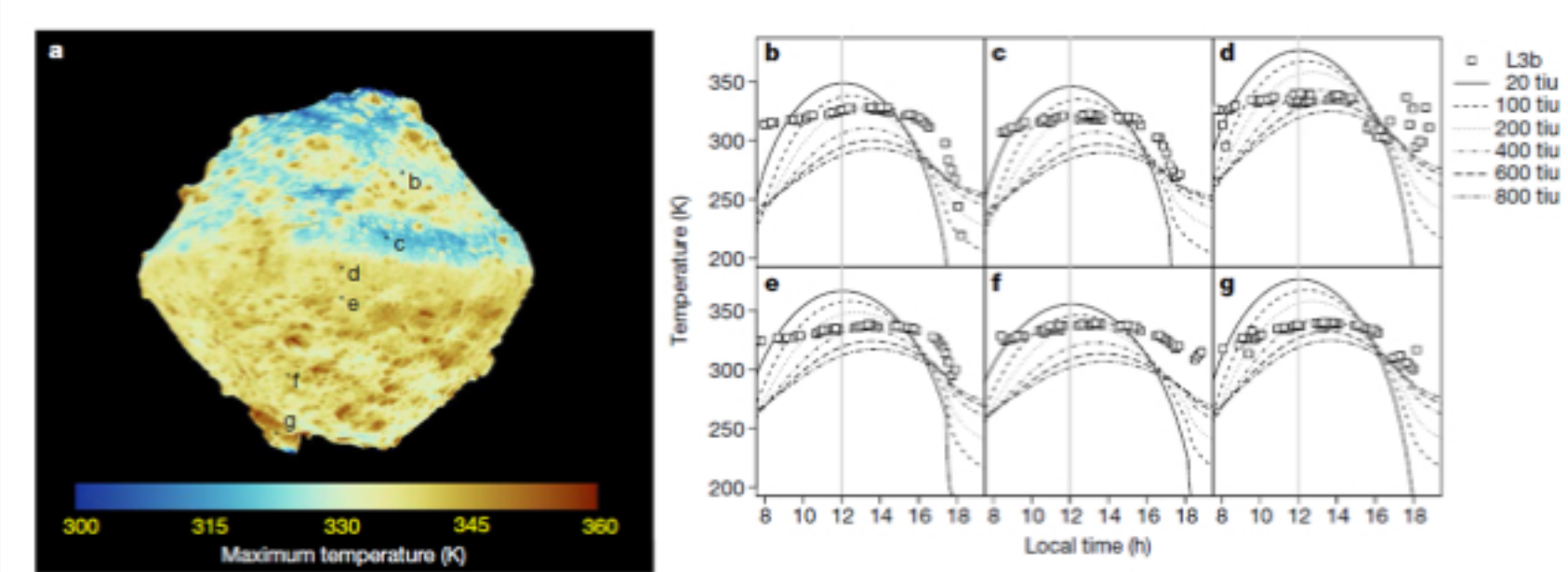


図1：左の図は小惑星リュウグウの1日の最高温度の分布。右のグラフは、各地点で観測された一日の温度変化（「ヒート」）と観測結果に基づいて予測された（「予測」）の比較。観測結果では一部は観測値を反映し、観測結果の値を反映させて予測している。

©Osada et al., Nature 2020

3/17

[小惑星探査機「はやぶさ2」観測成果として小惑星リュウグウの表面が隙間だらけの物質でできていることを示す論文がNature誌に掲載](#)

3/19

[小型光通信装置「SOLISS」による宇宙通信インフラ構築への貢献で第4回宇宙開発利用大賞の最高賞、内閣総理大臣賞を受賞](#)



3/26

[宇宙航空研究開発機構と理化学研究所との連携協力に関する基本協定の締結について](#)

3/27

[水星磁気圏探査機「みお」初期機能確認を完了](#)